

阿蘇へのアクセスルートの回復

熊本県

道路かわら版

熊本地震からの復旧・復興2017

村道栃の木～立野線(長陽大橋ルート) 開通



【8月27日】
熊本地震により大きな被害を受け、通行不能となっていた長陽大橋ルート（村道栃の木～立野線）が、大規模災害復興法に基づく国の直轄代行で、応急復旧により、開通しました。
熊本市から国道57号で南阿蘇方面へ向かう際、大きく迂回する必要がありましたが、当ルートの開通によって迂回が解消され、大幅な時間短縮が可能となりました。

平成29年12月27日
道路整備課・道路保全課・都市計画課

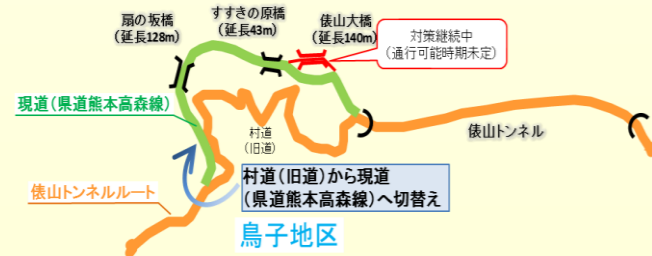
国道57号（北側復旧ルート）

【平成28年6月】
国道57号の復旧のため、国が進める本ルートについて、主要な構造物である二重峠トンネルの工事に着手しました。平成32年度的全線開通に向け、国と連携し、復旧工事を推進します。



県道熊本高森線（俵山トンネルルート）

【平成29年12月】
被災した俵山トンネルは国の直轄代行により復旧し、平成28年12月には、一部旧道を通る迂回路での開通が行われました。平成29年12月に鳥子地区については、村道（旧道）から現道（県道熊本高森線）へ切替える工事が完了し、これにより冬期を前に、急カーブ、急勾配が解消され、安全な交通確保が図られました。



阿蘇大橋地区の復旧検討

熊本地震により大規模な斜面崩壊が発生した阿蘇大橋地区の早期復旧に向けた対策については、有識者からなる「阿蘇大橋地区復旧技術検討会」において検討がなされています。11月に開催された第6回検討会で、斜面崩壊部においては、「道路等の構造物を再構築することは可能」との結論が出されました。

国道325号（阿蘇大橋ルート）

崩落した阿蘇大橋を含む国道325号について、国が直轄代行により災害復旧事業を進めています。平成32年度的全線開通に向け、国と連携し、復旧工事を推進します。



村道栃の木～立野線（長陽大橋ルート）

【平成29年8月】[再掲]
寸断されていた本ルートは国の直轄代行で、応急復旧により開通しました。開通により、本ルートの利用が増加し、並行するミルクロードの渋滞が一部緩和されました。さらに、救急病院の再開や搬送時間の短縮、開通をきっかけに南阿蘇村の観光施設の利用者が増加するなど、様々な効果が出ています。



益城町の復興まちづくり

～県道熊本高森線 4車線化事業～



【平成29年10月】
熊本地震で甚大な被害を受けた益城町市街地では、防災機能の向上を図るとともに、創造的復興につながるまちづくりのため、3月に事業認可を取得し、県道熊本高森線（都市計画道路 益城中央線）の整備を進めています。住民の方々や益城町の協力をいただき、10月から一部用地交渉に着手することができました。熊本地震からの早期復興に向け、今後も益城町と一体となり事業を推進します。



H28.12月

◆県道阿蘇公園菊池線 (通称:菊池阿蘇スカイライン)の部分復旧



①【平成28年12月28日】

熊本地震で発生した斜面崩落で全面通行止めが続いていた県道阿蘇公園菊池線(通称:菊池阿蘇スカイライン)において応急復旧工事が完了し、菊池溪谷付近の約6.3kmが昼間の片側交互通行が可能となり、阿蘇方面へのアクセスがまた1つ確保されました。

6月

◆県道八代不知火線(横江大橋)の仮橋完成



②【平成29年6月1日】

熊本地震により通行止めとなっていた県道八代不知火線の横江大橋(八代市鏡町)に、工事用仮橋を活用し、2t車以下を対象とした迂回路が完成しました。これにより、迂回距離は従来に比べ約5km短くなりました。

8月

◆県道横野矢部線の全面通行止めを解除



③【平成29年8月11日】

斜面崩落により全面通行止めが続いていた県道横野矢部線(山都町)の災害復旧工事が完了し、通行が可能となりました。これにより、地域住民の生活道路の利便性が向上しました。

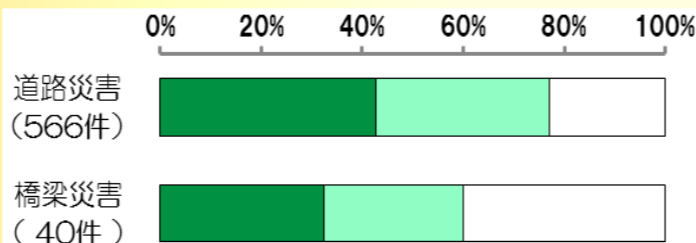
2017年の復旧・復興のあゆみ

～主な出来事・復旧状況～

熊本地震等に伴う道路・橋梁災害復旧(県施工分)

の進捗状況(件数ベース)

平成29年9月末現在



契約率: 工事請負契約を締結したもの
完了率: 工事が完了したもの

契約率 77.0% (436件)
完了率 42.6% (241件)

契約率 60.0% (24件)
完了率 32.5% (13件)



【平成29年4月28日】

熊本地震により、終日2車線に規制されていた九州自動車の益城熊本空港インターチェンジから松橋インターチェンジの区間が、ゴールデンウィーク前に4車線で復旧しました。

8月

◆県道菊池赤水線(車帰橋)の仮橋完成

④【平成29年8月18日】

熊本地震により損傷した県道菊池赤水線の車帰橋(阿蘇市)については応急措置で暫定供用していましたが、迂回のための仮橋が完成し、本格復旧に向けた工事に着手しました。



4月

◆県道阿蘇吉田線(東登山道)の対面通行が可能に



【平成29年4月26日】

熊本地震で被災した県道阿蘇吉田線(東登山道)の復旧工事が進み、昼間の対面通行が可能になったことで、阿蘇市方面から阿蘇山上や草千里へのアクセスが改善しました。

10月

◆県道阿蘇吉田線の全線開通



⑥【平成29年10月4日】

熊本地震による法面崩壊等により全面通行止めしていた県道阿蘇吉田線(南登山道)が、応急復旧工事により片側交互通行で通行可能となりました。

本区間の供用により、南阿蘇村側からも直接、阿蘇山上へ行けるようになったことで、阿蘇地域の周遊性が格段に高まり、観光への効果も大きく期待されます。

9月

◆南阿蘇村道池ノ窪～小河原線の供用開始



⑤【平成29年9月1日】

熊本地震で被災した南阿蘇村道の復旧工事(3路線)を県が代行により施工していますが、そのうち、「村道池ノ窪～小河原線」の復旧工事が完了し、供用を開始しました。